

# 四門会

第 27 号



聖マリアンナ医科大学  
耳鼻咽喉科学教室同門会

## 目次

巻頭言	肥塚 泉	4
会長あいさつ	服部康介	5
医局長あいさつ	齋藤善光	6
耳鼻咽喉科特任教授及び聖マリアンナ医科大学医師会長 就任あいさつ	岡田智幸	7
新入医局員あいさつ	青海瑞穂	11
	岩武桜子	12
	瀬尾 徹	13
退局のご挨拶	赤澤吉弘	14
	井戸光次郎	15
第 120 回 日本耳鼻咽喉科学会総会 宿題報告を終えて	肥塚 泉	16
四門会賞を受賞して	肥塚 泉	18
大学院生便り	稲垣太朗	19
	四戸達也	20
医局報告	医局構成	21
	出張病院および外勤病院	22
専門外来紹介		
嚥下外来	神川文彰	23
頭頸部腫瘍外来	明石愛美	24
喉頭・音声外来	多村悠紀	25
副鼻腔・アレルギー外来	川島孝介	26
中耳・聴覚外来	笹野恭之	27
めまい外来	鈴木 香	28

関連病院だより

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 瀬尾 徹 29

川崎市立多摩病院 晝間 清 30

横浜医療センター 佐々木祐幸 31

横浜総合病院 堀江怜央 32

東京労災病院 森田 翔 33

OB通信

及川貴生 34

木下裕継 36

三保 仁 38

森 園子 40

第33回 日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会 懇親会（名古屋） 黒田寿史 42

第20回 四門会ゴルフコンペ 内田 登 43

第23回 四門会理事会議事録 46

第23回 四門会 写真 48

会則 51

編集後記 55

## 日本そして医局の現況

肥塚 泉

この巻頭言を書いている令和2年2月25日現在、新型コロナウイルスのニュースで持ち切りである。先生方がこの巻頭言を読んでおられる頃には、感染の拡大が終息していることを祈るばかりである。世界保健機関（WHO）の中国事務所が未知のウイルスについての第1報を受けたのは、令和元年12月31日であった。このウイルスはのちに、新型コロナウイルスであることが判明し、人口が1,100万人以上の武漢市で集団発生した肺炎の原因であった。令和2年2月24日現在、中国では感染者数は7万7658人、死者は2663人となっている。日本での騒動は、本年1月20日に横浜を出発するクルーズ（ダイヤモンドプリンセス号）に参加し、1月25日に香港で下船した乗客が新型コロナウイルスに感染していることが判明したことから始まった。



当初2月4日横浜帰港の予定であったが、日程を早めて3日に横浜に戻り、2月4日に横浜港沖にて273名に再検疫を行い、結果の出た31名中の10名に陽性反応があると判明、病院に収容された2月5日早朝以降、症状が発生していない乗員・乗客合わせて約3,700人は14日間、船内で待機することとなった。その後、検査を受け、陰性であったため下船を許された乗客が再度、陽性を示す事例も報告され、今現在も混乱が続いている。また、このクルーズとは関係のない、いわゆる市中感染による感染者が日本のいたるところで散見されるようになった、今現在、この問題に関してはまだ先が見えないという不安な状態が続いている。一方、医局では、明るいニュースが続いている。本年度は、岩武桜子先生、青海瑞穂先生が後期研修医として入局してくれた。そして、瀬尾 徹先生が、近畿大学医学部耳鼻咽喉科からこられ、横浜市西部病院耳鼻咽喉科部長として活躍してくれている。2021年度は、日本中が明るい話題でいっぱいになっていることを祈念して、本年度の巻頭言とさせていただきます。

## 会長あいさつ

服部康介

19 回生、服部康介です。この度岩武博也先生に代わり、四門会会長を務めさせていただくこととなりました。人望の篤い岩武先生の次は少々気後れを感じてしまいますが、少しずつ立場に見合った人間になれるよう精進したいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

昨年の総会の際に一度皆様の前でお話しさせていただきましたが、私が毎日働いて子供たちを育てることが出来、食事を摂り温かい布団で眠ることが出来るのは仕事を教えて下さった代々の教授の先生方、そして同門の諸先輩方のおかげであると考えています。そして時には辛かった医局員時代の毎日をくじけることなく過ごすことが出来たのは、同期の仲間たちや後輩の先生方あってのことだったと改めて思います。医局を離れ誰一人知る人のいない名古屋で開業して 12 年が経ちました。初めの頃の孤独感を救ってくれたのも同門の方々でした。私はこの聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科が大好きです。お世話になった同門の皆様にも少しでも恩返しが出来たらと思います。そしてこれからも、いやこれまで以上に医局 OB と現役医局員が仲良く出来るように懸け橋になりたいと考えております。

岩武先生が長きに渡り会長を務められたこの四門会です。既に完成形といえると思いますので大きな変革は全く必要ないだろうと考えています。しかし時代や情勢の変化に対応出来る柔軟性も必要であろうとも考えています。何かここが足りない、ここがおかしいと思うことや、こんなことをしてみたい、ここはこう変えたらどうか等のご意見がありましたら是非お声をおかけください。

今年は改元の年、令和の始まりの誠に目出度い年でした。反面、登戸駅近くの目を覆いたくなるような凶悪犯罪や多摩川の氾濫などの恐ろしいこともあった年でした。そして四門会に係わる出来事としては、何といても第 120 回日本耳鼻咽喉科学会総会の宿題報告を肥塚教授が見事に成し遂げられたことであると思います。エンドロールで多くの諸先生方の名前の中に自分の名前を見出した時は、大きな感動とともに「一体私は教授の何か一つもお役に立てたのだろうか」「名前を載せていただく資格はあるのだろうか」という恥ずかしい気持ちの両方を感じていました。そして四門会のイベントとしても一つ、第 33 回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会の初日の夜に名古屋で四門会主催の宴会を行いました。会の様子は別頁に黒田先生が投稿してくださっています。是非ご一読ください。

最後になりましたが、四門会は会員同士の交流を深める楽しい会にしたいと思います。総会以外のイベントも続けていきます。足が遠のいてしまわれた先生もいらっしゃるかと思いますが、是非足をお運びください。とりとめのない文章とはなりましたが、会長就任の挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

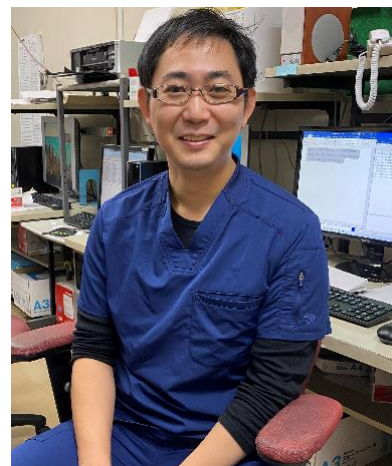


## 医局長あいさつ

齋藤善光

2019年4月より医局長に就任させていただきました齋藤善光と申します。

岩手県出身で、聖マリアンナ医科大学を2007年3月に卒業（第31回生になります）、その後、2年間初期臨床研修を経て、2009年4月より聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科へ入局致しました。現在、耳鼻咽喉科11年目のまだまだ医局長という重要な責務を果たすことが難しい若輩者です。これまでは、すべて肥塚教授、谷口先生、宮本先生、春日井先生を始めとした先生方に助けてもらうことがほとんどでしたが、私が責任をもって行動を起こさなければ



いけない立場となり、毎日が困惑と不安の日々の連続です。多くの不手際があるなか、温かい気持ちで見守って下さる、四門会の先生方、そして現医局員、スタッフの方々には本当に感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、今年度の医局報告ですが、まず新入局者に関しては、横浜市西部病院部長（特任准教授）として瀬尾徹先生が入局となりました。諸先生方もご存じかと思いますが、大変御高名な先生であり、既に医局全体に新しい風をもたらして頂き、医局員一同、必死に期待に沿えるよう努力をしている状況です。新卒者としては4月から岩武桜子先生、10月から青海（旧姓：奥村）瑞穂先生の2名が入局となっております。大変やる気に満ちた素晴らしい先生方で、医局長としては喜ばしく思っております。今後、一人前の耳鼻咽喉科医、そして、将来の耳鼻咽喉科を背負って立てるような医師に育てられるよう、最大限の努力をする所存です。先生方もどうぞ、温かくそして厳しい御指導の程宜しくお願い致します。

医局のイベントとしましては、「第120回 日本耳鼻咽喉科学会総会」にて肥塚教授の宿題報告がありました。公演は最終日のお昼という時間帯でありながら、多くの先生方に御参加頂き、会場はほぼ満席で大盛況に終わることができました。これもひとえに肥塚教授のこれまでの功績が評価された結果と思い、生意気ながら大変喜ばしく、誇りに思っております。また、今回の件では多大な寄付を諸先生方、四門会事務局より頂き誠に感謝しております。ありがとうございました。

来年度以降も、四門会、そして聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科がさらなる発展が遂げられるよう邁進していきたいと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## 聖マリアンナ医科大学医師会長を拝命して

岡田智幸

平成 31 年 4 月より耳鼻咽喉科特任教授および保健管理センター長を拝命し、法人職員、医学部・看護学校の学生の健康診断終了後(皆様のご協力のもと、例年 6 か月以上かかっていた法人全体の定期健康診断も約1か月半で、アメリカの独立記念日 7 月 4 日前には受診率 100%を達成)、あれよあれよという間に、気がついたら、聖マリアンナ医科大学に川崎市市内行政区の川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区そして麻生区の七区に加えて、末広がり八番目の地区医師会として聖マリアンナ医科大学医師会が発足すると同時に、同窓生並びに同門の諸先輩並びに後輩の先生方のご推挙を賜り、令和元年 8 月 1 日付けで 聖マリアンナ医科大学医師会長を務めることとなりました。

まだ、産声を上げたばかりの医師会です。日本医師会、神奈川県医師会、川崎市医師会の中の地区日本医師会の位置づけです。神奈川県内では、他に横浜市に 18 行政区医師会に加えた横浜市立大学医師会に次いで、2 番目の大学医師会となりました。今後、北里大学、東海大学が加わる準備をしているとお聞きます(都内の大学医師会は、23 行政区医師会や郡市医師会と同格の格付けです)。

医師会というと、一般 People と同じように、開業医の先生のためのものという意識が根強くあると思われます。その理由の一つかもしれませんが、山崎豊子原作の「白い巨塔」の映像化(1966)における財前(旧姓 黒川)五郎の義親である財前又一氏(某郡市医師会副会長)の登場により「実弾」発言のセリフ等、世論での医師全体の悪いイメージが形成・嘲弄されていた時期も確かにかつてありました。当時、国の方針は、Americanize されて米国版 Primary care (急性期医療・救急医療・高度先進医療)にシフトする経緯をとりますが、一方では、第 18 回日本医学会総会(沖中重雄会頭、武見太郎日本医師会長、1971)では「医学の進歩と医の倫理」が標語となり、医の倫理について紀元前に警鐘をうち出した医聖ヒポクラテスの精神を背景にしながら医学が高度になればなるほど、医師にとってこの心構えが必要であることを問うています(マルチ・イバニエス著、小野 譲訳「なぜ 医師になるのか. 序 沖中重雄、1970」)。崇高な志・職業倫理を持った日本医師会は、その後、日本医師会主体で、現在、厚労省の推進する「かかりつけ医」に相当する「家庭医」および地域包括医療構想の原案(開業医は、外来・往診・予防医療等に徹するべき)をすでに掲げておりました。直近の 2025 年問題といわれる超高齢化社会、堺屋太一が小説「団塊の世代(1976)」で戦後 1947-1949 年生まれの第一次ベビーブーム期の人々のたどる人生ドラマを描き、日本の 2025 年には、75 歳以上の後期高齢者が全人口の約 1/4 に達するという人口高齢化問題を世に問いましたが、それが具現化して、ようやく気づき、そして英国版 Primary care ('From the cradle to the grave' 「揺りかごから墓場まで」)にパラダイム・シフトをしつつあります。ある学生用テキストには、GP の役割について、こうあります。

In Britain the general practitioner (GP) is known as the family doctor. He provides primary care for

patients ‘From the cradle to the grave.’ If one member of a family has a serious illness, GP can give support and advice to the rest of the family. If necessary, GP visits the patient at home. (*Medicine Today by Dr Trisha Greenhalgh, 1993*)

家庭医である GP (大学医学部卒業後、二年の卒後研修プログラムを経て、専門医研修 6 年間のコースに行く者と GP 研修 3 年間のコースに行くものと別れて GP 研修修了した者が GP 登録できます)、住民はその地区で決められた GP にしか外来にかかれません→これが我が国で行おうとしている「かかりつけ医登録制」です。一人の GP は原則何でも診療してくれますが、複数の医師でグループ診療していることもあります。英国版 Primary care において医師と看護師との役割分担はもちろん明確ですが、医療費削減の目的のため、看護師さんができる範囲、診断、一部の処方や処置等広がっており、診療所看護師 (Practice Nurse) に診察を受けることもできます。保健師は公衆衛生活動に専従することが多いようです。英国の医療機関には、明確な機能分担があります (私の留学した病院は故 Diana 妃がパトロン of the National Hospital for Neurology, Neurosurgery and Psychiatry でした)。GP は専門医 (Consultant) のいる病院に紹介するわけですが、Prof. Adolfo M Bronstein へのめまいの紹介患者は、既に 3 か月以上経過したものが多く、治癒しているものもありました。感心したのは、紹介元には、診断名は変えず、所見を詳細に書いていたのを思い出します。これが、また紹介してもらうためのテクニックと言っていました。日本も英国も変わらないようです。Follow-up は、自分の院内にあるクリニックで行います。一回 100-200 ㎍ だったと思います。検査は別料金です。)

我が国では「かかりつけ医」を中心としたこの地域包括医療システムを慌てて構築しようとしている今日この頃です。この地域包括医療システムのモデル地区となっている福井県の全人口はたった 77 万人で、川崎市北部のそれに相当する程度で、未だ「絵に描いた餅 ‘Pie in the sky’」です。しかしながら、英国版 Primary care も 1980 年代 (‘鉄の女’ と言われた英国のサッチャー首相時代) には既に、医療経済は破綻し、病院ベッド数の削減を余儀なくされています。

… But that’s all politics. My role is simply one of management. Given financial circumstances, we have no choice, I’m afraid. I don’t like it any more than you do, but that’s the way it is. Or can any of you offer alternative solution? (*Medicine English for Academic Purpose Series, 1995*) のように、「半ばあきらめ、成るようにはかならないし、名案があったら提案して」という極致に至っております。2020 年 Brexit (EU 離脱) もあり、手本となっている英国医療は、これから更に混乱する？とも言われております。果たして我が国ではどうでしょうか？竹内まりやの「いのちの歌」の歌詞のように「本当にだじなもの、隠れて見えない」のです。患者さんやその家族にとって、何が大切か、何ができるか、将来我が身も患者となる我々医者が今一度、問い直す時期が来ていると思われま

すが、昨今、国にそして国民全体に「響く発言」をする目的にて、各診療科学会も名称を変更して、例えば、臨床耳鼻咽喉科医会となって、組織率を上げ、その結果、組織力を堅持して、各診療科医会も国に「もの申す」体制になりつつありますが、医師会にも入会していただき、医師全



体の組織力を上げ、医療の諸問題に関して医師全体の考え・意見を交換し、企業と労働組合との関係のように、国と対等にわたり合えるようになりたいものです(急激に開業医の先生方が増えるわけではないので、毎年増員の期待できる勤務医、特に大学病院勤務医、研修医に医師会に入会していただきたい)。それが、「医師全体の働き方改革(特に勤務医に関して)」、「新専門医制度」、「医師の偏在とかかりつけ医登録制」、「地域医療構想」などの問題点を克服するとともに、国民皆が納得できる医療を、特に川崎市医師会そして地区医師会と協力・支え合いながら展開したい。最終的には我々医者自身の幸福な生活にもつながると考えております。そして、各種助成金も医師会経由のもの(都道府県市町村など各行政機関によって異なるようです)があり、早急に入会する必要に迫られている診療科もございます。

まず、会員数が増えて必然的に付随してくる「響く発言」のできる体制を整えていくことが、我がマリ安娜のため、そして最後に私共のために大切である。私の大学医師会発足後数か月間の感想です。

医師会入会後のメリット(学校医、産業医、医陪責保険、医師年金、開業のためのローン、住宅ローン、教育ローン、若手医師のための結婚ローン等)を、勤務医の医師会年会費も格段安価となりましたので、膝を交えて、じっくりお話しできれば幸いです(私も、もっと前から、メリット知っておけばよかったです。言われるがままに入っておりました)。

医師会医入会のお願いはかりになりました(大変恐縮です)。

何卒、よろしくお願いいたします。

令和2年1月29日保健管理センターにて 岡田智幸(写真補)

1. 誤った世論により、国民、患者さんそして家族を考えて診療している医師全体のイメージが悪化して、「先見の明」のある医師会(当時は武見太郎会長)の1970年代の発言が、国にそして国民に「響かない」時期が不幸にも約半世紀も続きました。その後、医師の医師会離れが生じ、現在の組織率は約57%(全医療従事医師数約30万人、医師会加盟の開業医約8万5千人、勤務医約8万5千人で残りの勤務医約13万人が非加盟)と言われ、未だに、開業されている医師会会員ですら、「医師会は、勤務医は入らなくていいんじゃないか?」と未だに言われる現実も。しかしながら、医師会入会の開業医と勤務医の比は、ほぼ1:1なのに、現状もわからず、発言する先生も多いようです。
2. British Medical Association の略称と類似させた JMA 日本医師会は、本来、医師による医師のための=医師を守るための労働組合的団体であり、医学生から医師への一連の生涯研修・医療技術の研鑽をサポートする団体でもあります。

- 英国医師会 British Medical Association (BMA for short):

We are the trade union and professional association for doctors and medical Students across the UK. We support doctors throughout their training and careers.

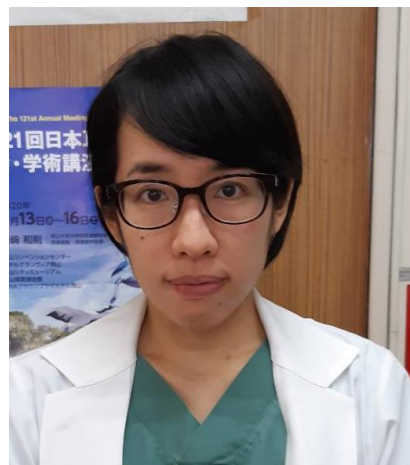
- 日本医師会 Japan Medical Association (JMA for short): 日本医師会は、47 都道府県医師会の会員をもって組織する学術専門団体です。「医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、社会福祉を増進すること」を目的に、医師の生涯研修に関する事項、地域医療の推進発展に関する事項、保険医療の充実に関する事項など、さまざまな活動・提言を行っています。



## 新入医局員あいさつ

青海瑞穂

この度入局させていただきました<sup>あおみ</sup>青海瑞穂と申します。私は東京出身で聖マリアンナ医科大学に入学するまでは神奈川県とはあまり縁がなく、休日に遠出として鎌倉へ出かける程度でした。しかし、大学に入学し、東京から大学まで通学し、現在は神奈川県在住です。未だに神奈川県<sup>あおみ</sup>の地理に関しては追いついていない部分が多くありますが、これから勉強していこうと思っております。私が耳鼻咽喉科に入局を決めた理由は、健康だけが取り柄である自分が唯一小学生の時から通院していたのが耳鼻咽喉科だったからかもしれません。大学に入る前の私



の耳鼻咽喉科に対するイメージは、急性の咽喉頭痛や中耳炎、アレルギー性鼻炎を診察してくれるところでした。しかし、大学に入り、授業や病院実習等で、意外に外科の要素が大きいと知りました。入学以前から外科に憧れていたため、耳鼻咽喉科や他の外科がとても魅力的に思えました。その中でも耳鼻咽喉科に特に魅力を感じた理由は、耳鼻咽喉科には、外科だけではなく、めまいをはじめとする内科的な要素、中耳炎や扁桃周囲炎の切開の手技など診療の種類<sup>あおみ</sup>の幅の広さがあったからです。2年間の研修を経て、外科的な要素も内科的な要素もあり、診断から治療まで全てを自科でできる耳鼻科に入局したいと考えました。さらに女性の先生方が出産を経て子育てをしながら働いていることを知り、今後の自分の働き方をイメージしやすかったことも入局の理由です。入局最後の決定打は医局の雰囲気<sup>あおみ</sup>の良さ、魅力的な先生の多さでした。入局後は、研修医とは異なり、外来を持つこととなり、日々自分自身の知識の少なさを痛感するとともに、先輩の先生方への尊敬が日に日に増しております。今後、耳鼻咽喉科の中でどのような専門に進むかはわかりませんが、目の前のことに精一杯取り組み、研鑽を積んでいきたいと考えております。浅学非才の未熟者ですが、どうぞ指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

## 新入医局員あいさつ

岩武桜子

今年度、聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室に入局させていただきました岩武桜子と申します。父が当医局出身であります。もともと手術等の細かい作業に対する苦手意識が強く、学生時代も健康診断の採血で毎回倒れていたため、自分が外科系を選ぶなんて考えもしませんでした。内科を考えていた研修医1年目の最後に耳鼻科をローテートさせていただいた際、学年関係なく先生方から丁寧にご指導いただき、初めて手術や外来手技を楽しいと思うことができました。そしていつの間にか6ヶ月も研修でローテートし、いつの間にか入局を決めていました。



自分で自分の進路にびっくりしましたが、何よりも家族や友人の方が驚いていたと思います。

今年度は本院の腫瘍チームで、様々な手術や癌治療の全身管理など幅広く学ばせていただいております。

未熟な点が多く、忘れっぽい性格も相まって皆様には日々数えきれないほどのご迷惑をおかけしていると思いますが、信頼できる先生方の心強いサポートがありとても楽しく後期研修生活を送っております。

今後も日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 新入医局員あいさつ

瀬尾 徹

2019年4月1日より聖マリアンナ医大横浜市西部病院耳鼻咽喉科部長に着任しました瀬尾徹です。小生は、1986年に兵庫医大を卒業後、兵庫医大、近畿大などで、耳科・神経耳科を専門としてきました。臨床的にはめまい難聴の診断と治療、研究では前庭機能検査（VEMP や vHIT）の開発に従事してきました。現在、特に力を入れていることは、新しい検査による新疾患概念の確立と難治性めまいの外科的療法で、引き続き継続して行きたいと思えます。



ところで、ここ数年は若い先生と接するのは院生の指導が多かったのですが、ここ西部病院では日常的に若い先生と接するようになりました。小生はもともと教職に興味があったので、少し思うことを述べてみます。かの Bruce Lee は出世作「燃えよドラゴン」の冒頭で、弟子にカンフー上達の極意を尋ねられた際に、“Don’ t think! Feel!” と言っています。彼の名言としてご存じかも知れません。ただ感覚だけで武術が上達するのだろうか。稀代の武道家の言葉としてはいささか軽薄な感もします。実は Bruce Lee は次のように続けています。” It is like a finger pointing away to the moon. Don’ t concentrate on the finger, or you will miss all that heavenly glory. ”（訳：それは月を指さすようなものだ。指を見るな。さもないと輝かしい栄光（月）を見失ってしまう。）さすが含蓄のある名言です。西部病院では月を見ることを教えて行きたいと思っています。

最後に、伝統ある聖マリアンナ医大での職を与えていただいた肥塚泉教授に感謝申し上げます。またいつもの的確なアドバイスを与えてくれる中村学先生にも感謝します。微力ながら聖マリアンナ医大の発展に貢献できるよう努めてまいりたいと思えますので、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 退局のご挨拶

しんゆり耳鼻咽喉科 赤澤吉弘

平成10年入局、22回生の赤澤吉弘です。同期は黒田、中村、東、杉山です。平成31年3月31日をもって医局を退職いたしました。退職にあたり医局時代の思い出を簡単に書き出して見ることにしました。

1学年上の小宅先生から「俺が面倒みるから安心して耳鼻科に來い！」のセリフを信じて入局したのですが、結局一緒に働くことは叶いませんでした。研修医時代、西部病院初日、挨拶をしい行った際に緊急気管切開があり、何もわからないまま手術に入らされ、大橋先生にメスで指を切られ、そして怒られました。東横病院では越智先生のアイデアで渡辺先生に星状神経節ブロックを毎日打たれ、鼓膜温をひたすら測定し、その結果を西野先生に論文に仕上げてもらいました。大学では喉頭班に所属し、岩武先生主催の勉強会で喉頭の知識をたくさん吸収しました。その時に富澤先生が作成してくれた資料の完成度が高く今でも活用しています。3年目は渡辺先生に怒られる毎日でうつになりかけましたが、高津が入局し彼に矛先が向いて助かりました。松尾先生と幹事をしたハトヤへの医局旅行は大切な思い出です。岡本や高津が飲み会の度に問題を起こすので楽しかったです。4年目に水戸済生会病院に向向し、金山先生から多大な影響をうけ、関先生、梅原とたくさんの症例を経験し充実した日々を過ごしました。水戸から帰国後は喉頭班と腫瘍班で仕事をしました。堤先生には様々なトラブルを助けていただき、渡辺先生には患者や疾患、学問と向き合う姿勢を教わりました。信清先生や大塚先生達と治療方針を立て、新しい手術にチャレンジし、夜は飲みに行くという毎日が楽しかったです。私を教えてくれた岩武先生、堤先生、渡辺先生がそれぞれ退職し、腫瘍班・喉頭班の責任者という重責を私が担うことになりました。春日井、三上、深澤を中心とした後輩たち、癌研から駆けつけてくれる新橋に支えられ、何とか職を全うすることができました。

最後に経験も実力も未熟な自分に大役を与えてくださった肥塚先生に心から感謝いたします。



## 退局のご挨拶

海老名こじろう耳鼻咽喉科 井戸光次朗

拝啓 浅春の候、皆様におかれましてはますますご繁栄のことと心からお喜び申し上げます。

2019年9月末日を持ちまして退局を致しました、井戸光次朗と申します。

入局後、大学病院の腫瘍班に配属された後に急性期班に配属、その後西部病院、多摩病院と関連病院を勤務し、本当に多くの経験をさせて頂きました。

在職中、私は学術的にも技術的にも医局に自信をもって貢献できたと言えることが無く、本当に多くのご迷惑をおかけしたことかと存じます。皆様からのご指導のおかげで本当に多くのことを学ばせて頂き、一人の医師、人間として成長していくことが出来ました。この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

以前より地域貢献をしたいという私の夢、目標がありました。2020年2月より神奈川県海老名市にて耳鼻咽喉科医院を開業させて頂いております。

今後、手術症例等のご紹介をさせて頂くこともあるかと存じますので今後とも、何卒ご指導ご鞭撻賜れますと幸甚に存じます。

皆様からの頂いたご指導、培った経験を今後も地域医療へ活かしていくことが皆様への恩返しになると信じ、精進して参ります。

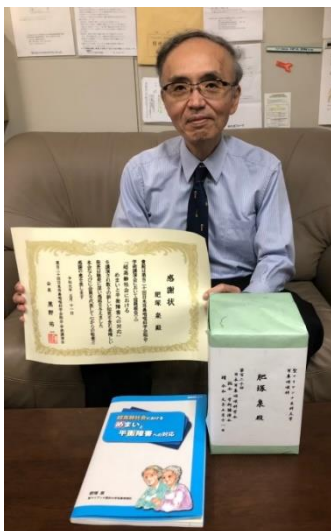
末筆ではございますが、皆様の長年のご厚情に深謝すると共に、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げ、退局挨拶とさせていただきます。

敬具

## 第 120 回 日本耳鼻咽喉科学会総会 宿題報告を終えて

肥塚 泉

令和元年5月8日（水）～11日（土）に、大阪で開催された「第120回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会」で宿題報告「超高齢社会におけるめまいと平衡障害への対応」を担当させていただいた。私が「高齢者のめまいと平衡障害」に興味を持ったのは、高齢者の転倒のリスクファクターの一つにめまい・平衡障害があり、そのオッズ比は比較的高く、脳血管障害の既往と同じ程度であるという疫学の論文に偶然出会ったことから始まった。それまでは、サルコペニアやロコモティブシンドロームなど、耳鼻咽喉科とはあまり縁がない、加齢に伴って生じる老化現象が転倒の主な原因であると考えていた。平衡機能に関しては小脳や脳幹に強力なバックアップシステム（前庭代償機構）が存在するので、年齢が相当高くなっても平衡機能に関しては十分に機能しているであろうと信じていた。次に驚くべき事実を知ったのは耳石器の加齢変化が意外と早くから生じるという研究結果であった。卵形囊の機能は50歳を超すと徐々に低下し、球形囊の機能は年齢に比例して直線的に低下してゆくというものであった。我々人類は、地球上に住んでいる以上、重力を無視しては生きてゆけない。重力のセンサーである耳石器の機能は年齢とともに低下するので、高齢者が転倒しやすくなるのは当たり前だとその時、妙に納得したのを覚えている。しかし世間一般では、加齢による耳石機能の低下が転倒のリスクファクターになりえるという事実は、全くの論外であった。転倒予防に、我々耳鼻咽喉科医もなにか役立つことができるのではないか。そう考えた私はこれ以降、①前庭リハビリテーションを、高齢者のめまい・平衡障害に適用できないか？②小脳に入力している体性感覚を有効利用できないか？の二つのテーマにしぼって取り組んできた。そして、今回は、これらをテーマとした研究の集大成を報告させていただくという、またとない機会を与えていただいた。医局員達の協力、四門会会員の皆様のご支援には心より感謝しています。ありがとうございました。



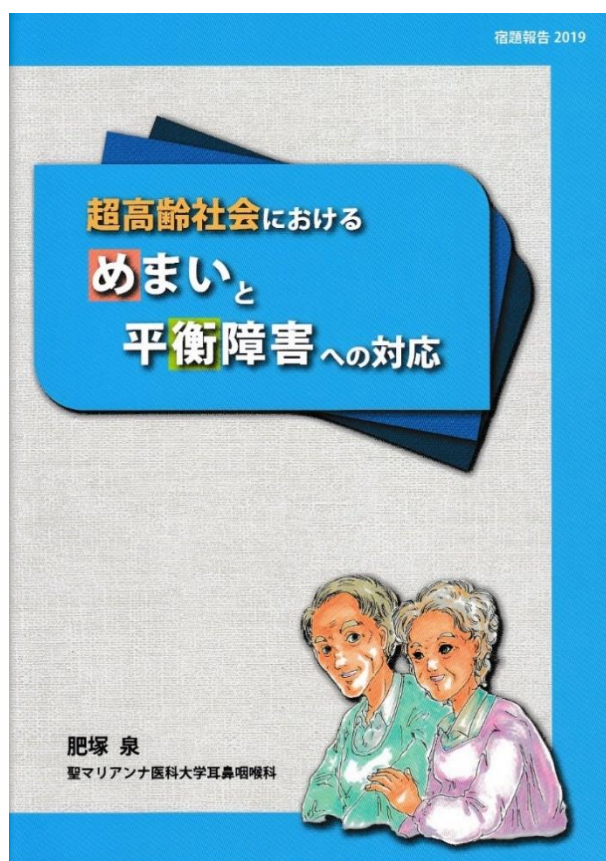




## 四門会賞を受賞して

肥塚 泉

四門会賞の選出基準は、①査読のある学術誌で優秀論文賞に選ばれた論文、②全国レベルの学会で、優秀発表あるいは優秀ポスター賞に選ばれた発表、③著書執筆者(著書:単行本、宿題報告モノグラフ)の3つである。今年度は、残念ながら①、②に該当するものがなかった。昨年大阪で行われた「第120回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会」で宿題報告「超高齢社会におけるめまいと平衡障害への対応」を私、肥塚が担当させていただいた。そして、宿題報告のモノグラフを刊行させていただいた。選出基準の③に該当するというので、服部康介同門会長の推薦により、私が今年度の四門会賞をいただくこととなった。受賞内容については、別稿、「宿題報告を終えて」に書かせていただいた。ありがとうございました。



## 大学院生便り

稲垣太郎（大学院3年）

聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学大学院生3年の稲垣太郎と申します。私は耳鼻咽喉科教室の大学院に在籍しながら、2017年4月より東京女子医科大学内にある先端生命医科学研究所で細胞シートを用いた新規治療の研究をおこなっておりました。ここで簡単に研究内容である細胞シートの説明をさせていただきます。従来の細胞培養の方法では培養細胞を酵素処理する必要があったため培養細胞をシート状に回収することはほぼ不可能でした。しかし、鼻粘膜や皮膚から組織を採取した後、特殊な培養皿を用いることで培養細胞の形態を崩さずに細胞の回収ができる細胞シートの作成が可能になりました。この技術を用いて細胞シートを傷害部位に移植し今まで治療が困難であった疾患の新しい治療法の開発につながるのではと考え研究を行い、3年の月日が経ちました。研究の成果としましては、家兎の外耳道閉鎖モデルの作成、および、口腔粘膜由来の細胞シートを外耳道の障害部位に移植することで外耳道閉鎖の抑制が有意に抑えられることがわかりました。様々な解析を行ったこの研究に関する論文のアクセプト及び国際学会での発表を近い目標としております。来年度には専門医試験も控えているため、臨床と研究ともに精進して参りたいと考えております。

## 大学院生便り

四戸達也（大学院4年）

毎年の四門会誌で大学院便りを報告させていただいており、すでに内容を私の実験テーマをご存知の先生方も多くいるかと思いますが、「平面スクリーンを用いた視覚刺激が前庭動眼反射に及ぼす影響」というテーマで4年間研究を行ってまいりました。

主論文も採択され、去る2020年2月末に学位審査を無事に終了しました。この4年間の振り返れば、最初は右も左も分からないような状態からスタートし不安や苦悩の日々でしたが、先輩方のサポートもあり無事に論文作成・学位審査までたどり着くことができました。実験に協力いただいた先輩の先生方には多大なるご指導・ご支援を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

4年間を通じ、実験や論文を書くことの難しさや奥深さを実感いたしました。今後はこの4年間で培った経験を少しでも医局に還元できるよう、私自身も精進してまいります。

## 医局構成

令和1年1月1日現在

名誉教授	竹山 勇
客員教授	大橋 徹・加藤 功
教 授	肥塚 泉
特任教授	岡田智幸
准 教 授	晝間 清・谷口雄一郎
特任准教授	瀬尾 徹
講 師	春日井 滋・佐々木祐幸・宮本康裕
助 教	齋藤善光（医局長） 明石愛美・鈴木 香・中村 学・深澤雅彦・藤田聡子・三上公志
任期付助教	青海瑞穂・赤羽邦彬・岩武桜子・小野瀬好英・神川文彰 川島孝介・久保佑介・多村悠紀・藤井正文・堀江怜央・森田 翔 山田善宥
大学院生	荒井光太郎・稲垣太朗・大原章裕・笹野恭之・四戸達也・西本寛志 望月文博
非常勤講師	芋川英紀・岩武博也・及川貴生・大草方子・越智健太郎・小宅大輔 北島明美・木下裕継・工藤典代・釧持 睦・佐藤成樹・武田憲昭 中村 正・日比野 浩
登 録 医	高橋 姿
研 究 員	阿久津征利・犬飼賢也・加藤弓子・山田善一
診療技術員	北林圭子・久保田恵子・久保田成美
医局秘書	秋山恵子
教授秘書	鈴木 愛

関連病院 AOI 国際病院、麻生総合病院、稲城市立病院、川口総合病院、  
川崎市立多摩病院、癌研有明病院、共立蒲原総合病院、京浜総合病院、  
国立病院機構横浜医療センター、左近山診療所、慈泉堂病院、  
島田総合病院、湘南病院、総合高津中央病院、ソレイユ川崎、  
東京労災病院、秦野赤十字病院、淵野辺総合病院、横浜甞生病院、  
横浜市西部病院、横浜総合病院

（50 音順敬称略）

## 出張病院および外勤病院

病院名	赴任医師	電話	fax
西部病院	瀬尾 徹 中村 学 四戸達也 久保佑介	045-366-1111	045-366-1190
多摩病院	晝間 清 藤田聡子 西本寛志 藤井正文	044-933-8111	044-930-5181
国立病院機構 横浜医療センター	佐々木祐幸 赤羽邦彬	045-851-2621	045-851-3902
横浜総合病院	堀江怜央	045-902-0001	045-903-3098
癌研有明病院	新橋 渉	03-3520-0111	03-3570-0343
東京労災病院	森田 翔	03-3742-7301	
AOI 国際病院	外勤医師	044-277-5511	044-277-5747
麻生総合病院	外勤医師	044-987-2522	044-988-0878
稲城市立病院	外勤医師	042-377-0931	042-379-1310
川口総合病院	外勤医師	048-253-1551	048-256-5703
共立蒲原総合病院	外勤医師	0545-81-2211	0545-81-2208
京浜総合病院	外勤医師	044-777-3251	044-777-7319
左近山診療所	外勤医師	045-352-4184	045-352-4183
慈泉堂病院	外勤医師	0295-72-1550	0295-72-1578
島田総合病院	外勤医師	0479-22-5401	0479-23-3613
湘南病院	外勤医師	046-865-4105	046-866-4584
総合高津中央病院	外勤医師	044-822-6121	044-822-7995
ソレイユ川崎	外勤医師	044-959-3003	044-954-5581
秦野赤十字病院	外勤医師	0463-81-3721	0463-82-4416
淵野辺総合病院	外勤医師	042-754-3700	042-754-2201
横浜甞生病院	外勤医師	045-301-0533	045-303-5736

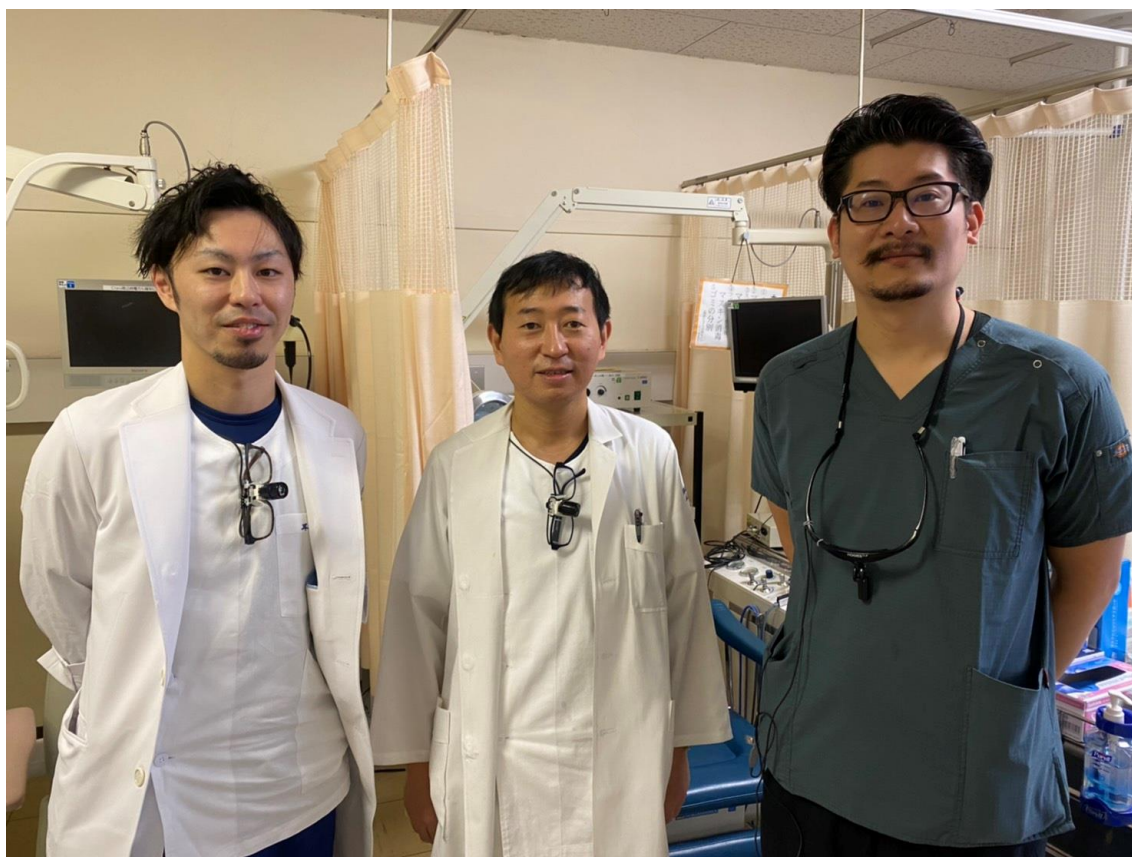
## 《嚥下外来》 月曜日 PM

担当医：春日井滋、神川文彰、山田善宥

嚥下外来は2018年より開始させていただき、月曜日の午後に診療しております。現在は春日井(平成13年卒)、神川(平成26年卒)、山田(平成27年卒)の3名体制となっております。主な診療内容としましては、入院中の患者様の嚥下評価・嚥下障害を主訴に受診された患者様の嚥下評価をSTの方々と行っております。また、気管切開を施行されている患者様のカニューレ変更や、適応がある場合は気管孔閉鎖を行っております。

昨年度は、神経疾患による誤嚥防止のため声門閉鎖を2件施行しております。今後も脳神経内科と協力し手術件数を伸ばしていけたらと考えております。

OBの先生方におかれましては患者様をご紹介いただきありがとうございます。今後とも地域の患者様に信頼のおける医療を提供し安心いただけるよう心掛けて参りますのでよろしくお願いたします。(神川文彰)



## 《頭頸部腫瘍外来》 火曜日AM

担当医：深澤雅彦、三上公志、明石愛美、小野瀬好英

毎週火曜日の午前中に、深澤、三上、明石、小野瀬の4人体制で行っております。

2018年10月～2019年10月までの手術件数の概要を報告させていただきます。

### \*悪性腫瘍手術

頸部郭清術 31例

喉頭全摘出術 8例

中咽頭悪性腫瘍手術 3例

舌部分切除術 12例

経口腔的悪性腫瘍手術 9例

その他、悪性腫瘍手術(口腔底癌、下歯肉癌、上歯肉癌、頬粘膜癌)9例

### \*再建手術

咽喉頭食道摘出+遊離空腸再建術 5例

舌垂全摘+腹直筋皮弁再建 2例

上顎全摘出術+腹直筋皮弁再建 1例

### \*良性腫瘍手術

甲状腺腫瘍手術 28例

耳下腺腫瘍手術 20例

顎下腺腫瘍手術 13例

その他、良性腫瘍手術(頸部のう胞、脂肪腫、がま腫)9例

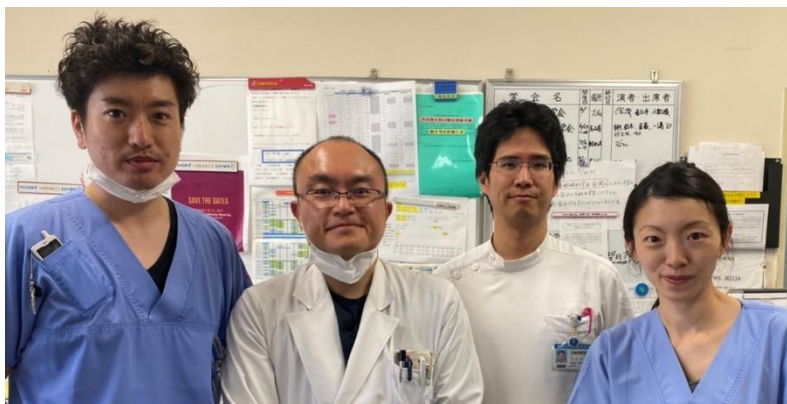
OBの先生方を含む、近隣医療機関からの頭頸部腫瘍のご紹介があり、年々、頭頸部症例や手術件数は増加しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

2018年10月に、深澤医師が国立がんセンター中央病院での3年間の国内留学を終え、当院に戻り、当院での頭頸部診療において、前医での経験をふまえて、御指導いただき、チームの更なる発展を日々、目指しています。

手術症例だけでなく、放射線治療、化学療法についても、日々、アップデートされる情報を学び、治療を検討しています。また、頭頸部患者様の高齢化も進んでおり、治療選択の難しさを痛感しています。

頭頸部チーム一丸となって、カンファレンスを繰り返し患者様の各々に見合った治療を提供できるよう日々、心がけています。引き続き、地域の患者様には信頼のおける治療を提供し、安心して頂けるよう心掛けて参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

(明石愛美)





## 《喉頭・音声外来》 水曜AM

担当医：春日井滋、神川文彰、多村悠紀

2019年4月より喉頭・音声外来は毎週水曜日の午前、春日井滋(平成13年卒)、神川文彰(平成26年卒)、多村悠紀(平成27年卒)の3名体制で行っております。

主に外科的治療としては喉頭微細手術、喉頭形成術、披裂軟骨内転術などを行っております。

また、言語聴覚士と協力し、外来で音声指導も行っております。

今年度より声質をコンピューターで分析する音響分析を新たに導入いたしました。今まではGRBAS尺度を用いた評価と発声機能検査を用いて嗄声の評価を行っていましたが、音響分析を用いることで、治療前後での声質の改善をデータとして他覚的に評価できるようになり、患者様により説明しやすくなりました。

私は後期研修3年目であり、診療に関してはまだまだ未熟者ではありますが、専門外来に携わる機会を頂き、より専門的な検査、治療を経験させて頂いております。これも先生方のご紹介あってのことであり、誠に感謝しております。手術件数に関してはまだまだ不足している状況ですので、今後とも是非ご紹介いただければ幸いです。

これからもより良い医療を提供し、地域医療に貢献できるよう努力してまいりますので、一層のご指導ご鞭撻の程、よろしくようお願い申し上げます。(多村悠紀)



## 《副鼻腔・アレルギー外来》 水曜PM

担当医：宮本康裕、齋藤善光、川島孝介、山田善宥

副鼻腔・アレルギー外来は2019年4月より毎週水曜日午後宮本康裕、齋藤善光、川島孝介、山田善宥の4人体制で行なっております。

外科的治療としては、主に内視鏡下鼻副鼻腔手術Ⅰ～Ⅴ型、鼻中隔矯正術、下鼻甲介手術、後神経切断術を行なっております。前頭洞病変に対してはDraf typeⅡ/Ⅲ、腫瘍を含めた上顎洞病変に対してはEMMM



(Endoscopic modified medial maxillectomy)、強い前弯を伴った鼻中隔彎曲症に対してはHemitransfixion approachによる矯正術を行なっております。また術前に難易度が高いと予想された症例に関しては、積極的にナビゲーションシステムを使用し、良好な術後経過が得られております。前述の手術に関しては、全身麻酔下での手術を基本としておりますが、日帰り手術のご希望がある際や患者様の年齢や全身状態に応じては、適宜局所麻酔下での手術も検討させて頂いております。

また、スギ花粉症に対するシダキュア®（スギ花粉舌下錠）、ダニアレルギーに対するミティキュア®（ダニ舌下錠）の舌下免疫療法の導入も施行しております。適応患者様がおりましたら、是非ご紹介頂ければ幸いです。

近隣の先生方の御紹介により、毎週多くの予約患者様がおり、手術件数に関しても増加傾向を認めておりますが、まだまだ不足している状況ですので、今後とも御紹介のほど宜しくお願い致します。また、外来にて処置や小手術、術前ICが立て込んだ際には、近隣の先生方からの紹介患者様をすぐに診察できない状況があることをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。

これからも近隣の先生方が安心して御紹介できるよう、丁寧かつ誠意ある医療を提供できるようより一層精進して参りますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。(川島孝介)

## 《中耳・聴覚外来》 木曜PM

担当医：谷口雄一郎、宮本康裕、稲垣太朗、笹野恭之、青海瑞穂  
越智健太郎、木下裕継、釦持睦

本年度より中耳・聴覚外来を担当しております、後期研修医 3 年目の笹野恭之と申します。現在、聴覚外来は毎週木曜日午後にご谷口雄一郎、宮本康裕、稲垣太朗、笹野恭之、奥村瑞穂、越智健太郎(非常勤)、木下裕継(非常勤)、釦持睦(非常勤)の8名で診療を行っております。慢性中耳炎や中耳真珠腫などに対する手術症例から、小児の遺伝性難聴症例まで幅広く診療を行っております。

手術では顕微鏡に内視鏡を補助使用する MES (Endoscopy-assisted MES) を主流とし、内視鏡下でのアブミ骨手術や外リンパ瘻、耳小骨奇形などに対し経外耳道的内視鏡下耳科手術 (TEES) を行っております。

難聴の検査では既存の OAE や ABR だけでなく ASSR も積極的に施行し、小児難聴への速やかな精査、治療方針の決定を心がけております。

私はまだまだ診療において未熟な面も多々ございますが、患者様に最良の医療を届けることを最善に考え、上級医の先生方にご相談させて頂きながら、耳科領域における診断・治療選択・手術手技・管理を経験させていただいております。現在、鼓室形成術や顔面神経減荷術、外リンパ瘻に対する内耳窓閉鎖術などを経験させていただいており、今後も研鑽を積み重ねていきたいと考えております。

OB の先生方におかれましては、いつも患者様をご紹介いただき誠にありがとうございます。手術件数も年々増加しており、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も患者様により良い医療が提供できるように努力していく所存でございますので、何卒一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。(笹野恭之)



## 《めまい外来》 金曜 PM

担当医：肥塚 泉、三上 公志、鈴木 香、望月 文博、  
大原 章裕、荒井光太郎、笹野 恭之

めまい外来は、4月から臨床大学院で研究されている荒井先生と笹野先生が加わり、今年度は肥塚先生をはじめ7名で金曜午後に担当しております。

平素より貴重な症例をご紹介いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、当院のめまい紹介患者様は年々増加しており、この場をもちまして御礼申し上げます。

今年5月大阪での日本耳鼻咽喉科学会において肥塚先生の宿題報告があり、大盛況のうちに終わることができました。肥塚先生の一番近くでお手伝いさせていただき、私たち自身も大変貴重な経験をさせていただきました。

マリアンナはv-HITやVEMPなど検査機器が揃っており、内耳機能検査の精密さに加え、3名の優秀な検査技師さんが検査を行っていただいております。これはめまい診療における強みだと思います。

これからも肥塚教授指導のもと、より良いめまい診療ができるように精進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



## 関連病院だより 《西部病院》

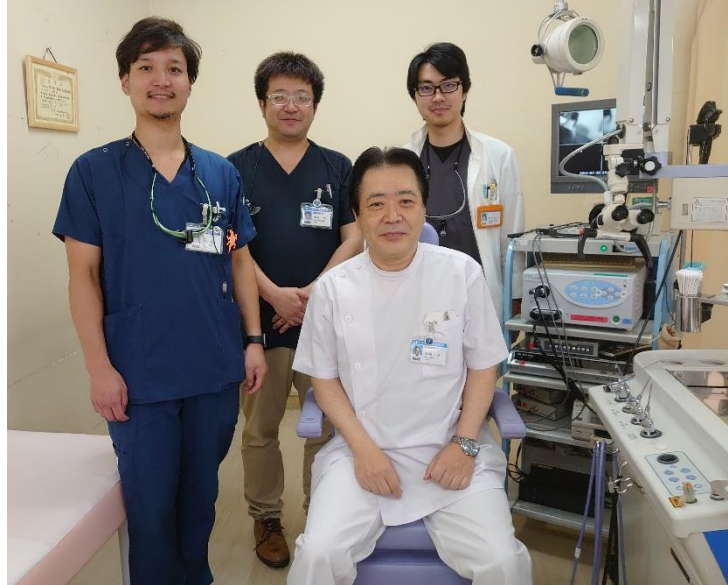
部長：瀬尾 徹

主任医長：中村 学

医員：四戸達也、久保佑介

聖マリアンナ医科大横浜市西部病院耳鼻咽喉科は、2019年4月より新体制となっております。そこで西部病院の現況について、臨床、教育、研究面についてご報告させていただきますと思います。

まず臨床面は、これまで手薄だった耳科手術について注力しております。慢性中耳炎、真珠種性中耳炎に対する鼓膜形成術、鼓室形成術のみならず、小生のライフワークでもあるめまいの手術療法についても積極的に取り組んでいきます。ESSを



はじめとした鼻科手術は引き続き中村先生に活躍してもらっています。現在ナビゲーションシステムの導入を目指しており、これによって難易度の高い手術をより安全に行うことができるようになるものと期待されます。さらに2020年1月よりめまい外来を開設し、よりシステムティックなめまい診療を提供しております。これらにより病院のアイデンティティを明確にし、集患とともに病院の経営にも貢献できるものと思っています。

教育面では、幸い当院では扁桃摘、アデノトミーなど耳鼻咽喉科の基本的手術が多数あり、若い先生は順調に腕を伸ばしています。さらに、単に経験の積み重ねだけではなく、手技に関する意義を考えるようなればいいかと思っています。

最後に研究面に関してですが、若い先生には臨床に結び付く研究を行い、その記録を残すように指導しています。すでに四戸先生と久保先生は学会で発表したものを論文にする準備に入っています。大学病院分院の長所のひとつに情報発信の機会が多いという点があります。さらに当院発の情報を増やして行きたいと思っています。

さて、西部病院も2020年4月より人事異動がありメンバーが大きく入れ替わります。新メンバーもさらに大活躍をしてくれることでしょう。これまで諸先輩方が築き上げられた西部病院のよき伝統を壊さぬよう、精進して参りたいと思います。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

## 関連病院だより 《川崎市立多摩病院》

部長：晝間 清

主任医長：藤田聡子

医員：西本寛志、藤井正文

私も多摩病院に赴任し、4年目となりました。平成31年4月には、堀江怜央先生が横浜総合病院に異動し、代わりに、大学から藤井正文先生が来てくれました。また、西本寛志先生には、引き続き大学院生として、残っていただきました。残念なのは、井戸光二郎先生が10月に海老名で開業、医局を卒業することとなったことです。それに伴い多摩病院も離任となり、いつも頼りにしていた存在であっただけに、ただただ寂しい思いがします。後任は、以前に多摩病院で勤務経験のある藤田聡子先生で、大学から戻ってきてくれました。お子様も2人になり、子育てと仕事を両立させているのには、頭が下がります。最終的に4人体制が継続されたことは、責任者としてはうれしい限りです。さて、元号が平成から令和に改まり、肥塚教授の宿題報告も無事に終わり、2020年には東京で4年に一度のオリンピックが行われます。アメリカのトランプ大統領は、大統領任期最後の4年目で、次期選挙に向けて血道をあげています。当院の鈴木院長も任期最後の年のせいか、管理運営会議で、いつもは行わない病院予算の収支表の解説をしていました。病院幹部職員の一人一人にコスト意識を持ってもらいたいとの考えなのでしょう。ここにきて、私も部長の4年間を評価される立場なのかもしれません。



## 関連病院だより 《横浜医療センター》

部長：佐々木祐幸

医員：赤羽邦彬

外来日は月～金の午前 8 時 30 分～11 時 30 分。H31 年 4 月から小野瀬先生に引き続き赤羽先生が活躍しております。陽気なトークの小野瀬先生からこれまた陽気な赤羽先生へのバトンタッチに、周辺スタッフも明るい気持ちになります。赤羽先生は本年度に結婚式を挙げられ、ご夫妻に新しい命も授かったことでやる気満々というところでしょうか。毎週金曜日の手術日は大学からの外来診察医派遣を頂き、4 月から現在まで岩武先生に担当をお願いしております。1 日平均 30 人程度の受診者数で、新患担当は月・水が佐々木、火・木が赤羽です。



入院数は昨年度の平均が約 3 人で微増、H30 年 11 月から今年(令和元年)10 月までの入院手術件数は計 203 件、主な内訳は ESS 33 件、扁桃摘 96 件(48 例)、デビ 7 件、チューブ挿入 26 件、LMS 6 件、気切 3 件です。全麻手術のみでも 200 件を越えました。今年度より日耳鼻専門医研修施設として認可が下りましたが、施設ごとに認可されていた専門医研修施設という名前は今年度で最後となります。新専門医制度では、当科は大学の連携施設として引き続き微力ながら尽力いたす所存です。

当地に出向してから 10 回目の冬を迎えておりますが、H22 年 4 月にリニューアルした当院の外観などはまだキレイです。嚥下内視鏡(VE)件数は、週 10 件程度で推移しております。現状では外来患者への VE は施行しておりません。

外来看護師は 1 名ですが、曜日により C ブロック(耳鼻科、眼科、皮膚科、泌尿器科)担当の 3、4 名のうち、1 名が交代で診察介助を行っています。医療事務(MA)は引き続き高井が担当となっております。写真は先日開催された OB 会(耳鼻科担当 OPE 室看護師と)と、外来での 1 枚です。来る 3 月から首都高横浜環状北西線の完成に伴い、東名川崎インターから横浜青葉インター、第三京浜港北インターを経由して横浜新道戸塚インターまで、保土ヶ谷バイパスを経由せずに高速道路のみで通勤できるようになります。当院へのアクセス向上が期待されます。



## 関連病院だより 《横浜総合病院》

部長：田中泰彦

医員：堀江怜央

当院は H30 年 4 月から 5 年ぶりに常勤医が 2 名となり、今年度も田中先生の下で日々の診療に励んでおります。月曜午後には肥塚先生、木曜日には医局員の先生方に外来診療をして頂いております。

当科では都筑区や青葉区を中心に先生方から貴重な症例をご紹介いただき、外来・入院・手術件数も増加傾向であります。特に手術は幅広く行っており、患者さんからもご満足していただいております。これも OB・OG の先生方のご指導の賜物です。

また当科で加療しきれない患者さんを聖マリアンナ医科大学病院だけでなく昭和大藤ヶ丘・北部病院の先生方に診ていただき、病診・病院連携に役立っております。ここ最近では昭和大の藤ヶ丘・北部病院の懇親の場にもお呼び頂き、医療の幅が広がっていることが実感できます。

個人的にはまだまだ知識も技術も大きく不足しており、今後も勉学に励み、先生方のような立派な医師になれるように日々精進していく所存です。

誠に有難うございます。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。





## 関連病院だより 《東京労災病院》

部長：高柳博久

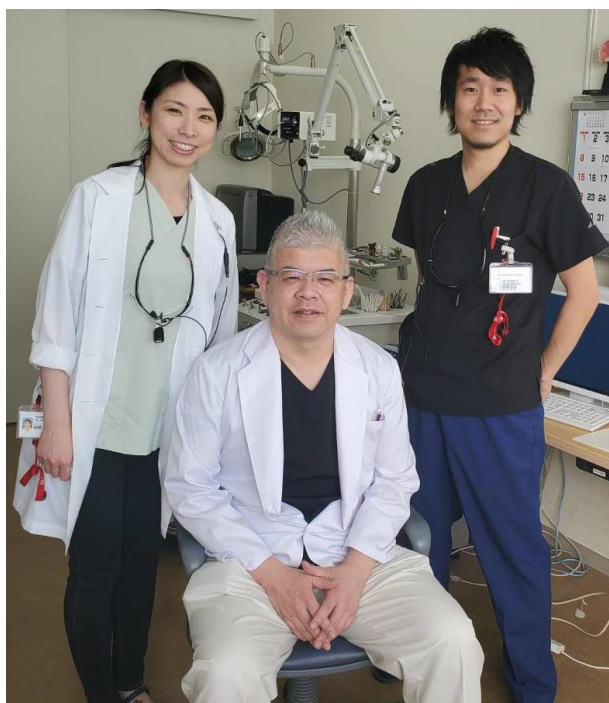
医員：細野祥子

医員：森田 翔

平素より四門会会員の諸先生方には大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

2019年4月から東京労災病院で勤務をさせて頂いている森田翔と申します。当院は大田区の大森・蒲田地区に属する400床を有する病院です。現在、高柳博久部長と細野祥子医師と私の3人常勤体制で診療を行っております。

市中病院での勤務は初めてで慣れないことばかりでしたが、地域に根付いた医療を日々学ばせていただいております。大学病院の勤務時よりも患者様との距離感が近く感じ、主治医制度のためより責任感を持ちながら診療に当たることができております。



また手術に関しては高柳部長と細野医師の手厚いサポートのなか非常に多くの症例で執刀をさせて頂いております。手術日は月曜日と金曜日の週に2日になっており平均週に3~4件の手術を行っております。口蓋扁桃摘出術や鼓膜換気チューブ留置術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、喉頭微細手術、頭頸部良性腫瘍(耳下腺腫瘍・甲状腺腫瘍)、鼓室形成術など幅広く手術症例があるので日々スキルアップに励むことができます。

手術日以外は東邦大学大森病院の外勤の先生方にもご協力を頂きながら外来業務を行っております。午前中は一般外来、午後には術前術後外来やめまい外来、嚥下外来などを行っております。毎週水曜日の午後は甲状腺や耳下腺腫瘍のエコーガイド下生検、嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査を行っております。嚥下造影検査の際はレントゲン機器の操作なども経験させて頂いており貴重な経験となっております。

主な入院加療症例としては急性炎症や眩暈、突発性難聴、顔面神経麻痺などが多く近隣の開業医の先生方と連携を取って診療を行っております。

2020年度は再び大学勤務となりましたので東京労災病院で学んだことをしっかりと活かせる様精進して参りますので引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## OB 通信

及川貴生

現在川崎市多摩区登戸でたま耳鼻咽喉科を開院している及川貴生と申します。  
開院して早 7 年半が経過しました。  
先に個人的な話を少しすると最近大事にしているのは季節を感じることです。  
日本は四季あり、季節ごとに素晴らしい景色や旬の食材を味わうことができます。実家が東北の港町であったこともあり旬の魚介には目がなく 2 ヶ月に一度は行きつけの寿司屋で必ず季節ごとの旬の食材を味わうことにしています。  
また季節ごとの空気の匂いを感じるのも楽しみの一つです。週 5-6 日は健康のための早朝起床しジョギングをしているのですが、季節ごとに変わる景色もいいですが、気温や湿度、空気の匂いを感じて 1 年の変化を実感するのは気持ちのいい時間です。  
悩み事や考え事、その日こなす必要のある仕事のタスクや時間管理もなるべく走っている間考えるようにしており習慣となるととても有効な時間になっていると思っています。  
ここ数年は横浜マラソン、東京マラソンともにことごとく抽選が外れてしまっていますが来年こそはフルマラソン完走を目指したいと思っています。  
季節ごとの景色といえば最近息子が 5 歳と育ってきたので、可能な範囲で季節ごとの自然やきれいな景色を見につれていくよう心がけています。  
今年のゴールデンウィークは茨城県にある国営ひたち海浜公園にネモフィラの花を見にいってきました。大変な混雑でしたが流石は「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」選ばれただけあり、みはらしの丘に広がるネモフィラと青空のコントラストが圧巻でした(写真参照)。  
10 月にもみはらしの丘がコキアに変わるので真っ赤な紅葉を見てきました(写真参照)。  
もし機会がありましたら是非一度訪れる価値のあるおすすめ場所です。  
ひたち海浜公園は自分が耳鼻咽喉科医として先駆けとなる医師 3-4 年目に水戸済生会総合病院に出向していた際に夏に行われる ROCK IN JAPAN FESTIVAL の会場であることもあり度々訪れていたのですが、自分の家族と 10 年以上ぶりに訪れてみると色々と感慨深いものがありました。  
仕事に関しては関連教育機関としてももっとクリニックを良くしていきたい思いもありますし、医師会では多摩区医師会新規開業担当役員も担当させていただいております。  
また、休診日である毎週水曜日は開院から変わらず 5 年生の BSL の学生クルーズを引き続き担当させていただいております。  
今年から正式に非常勤講師も拝命いただき益々日々精進していく所存です。  
今後も先輩方や後輩の皆様のご迷惑にならぬよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



## OB通信 ふりかえって

木下裕継

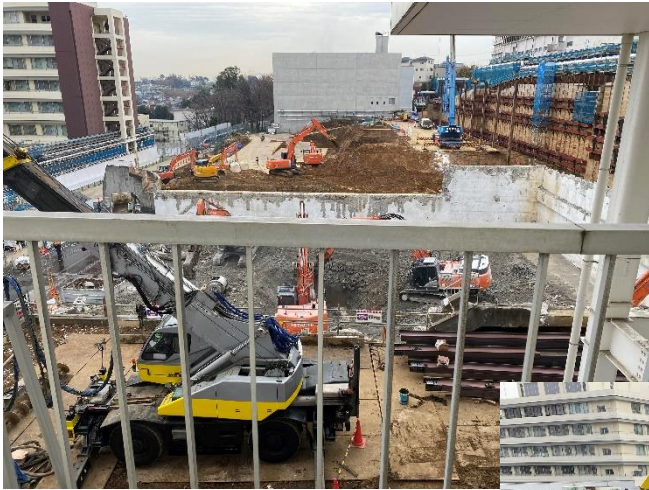
OB通信の依頼を受けたのは、10月でしたか。依頼を受けるに当たり、「今やらないと一度も書かない」と思い3日後に返事をしました。その時は、考えていないのですが、改元された最初の年のOB通信、単純に少しうれしい。

しかしながら、1回目の締め切りは延ばしてもらい、最終締め切りが12月末と聞き、ようやく書いている今が、12月29日であります。小学校、中学校と作文と図画工作が大嫌いな私です。当然、何を書けばよいのかと迷います。まずはOB通信のOBとは？調べてみるとold boyの略でその学校、企業の卒業生を意味する和製英語だそうです。次に「内容」はどうしようとなるわけです。過去の四門会誌を読めばいい案件が浮かぶかと-----。いつもろくに読まずに右から左のその会誌、あるわけありません。それで2日前、朝から医局に行ったわけです。すると、無いのです。あの明石会館が。最初は、「無いね。ちょっと寂しいかな」と思う程度でした。そして、この通信の写真に入れようと冷静に考えていました。医局に入り、鈴木秘書さんに「写真撮って」とお願いしました。撮りに行った現場で、待てよ、「この人は研修医1年目の麻酔科研修をいただいた北山さんの娘さんだ」と思い出してしまったのです。それをきっかけに、いきなり走馬灯のように40数年の思いや光景が過ぎるから、心にグッと来たのです。今でいう、ヤバイです。実際、落ちなかったけど涙出てしまいました。朝、10時ですよ。想像してみてください。スキンヘッドの初老の人が無くなった明石会館見て泣いていたら、変人でしょう。

その日は、もう書ける気分でないから終わりにしました。

そして昨日、未来へ向かう工事だからと、勝手に納得して四門会誌を読んでいくと、また哀愁、感慨に浸ってしまうのでした。そして今日です。聖マリ医大に7年、耳鼻科医局員として23年間、そして現在は、大和市に開業し、11年目が終わろうとしています。現在も2カ月に1-2回程度、大学で外来を数人程度ですが見させていただいております。大部分はOBですが、医局員とのキメラみたいな存在です。実は31歳のときHCVと分かり、インターフェロン投与も行うのですが再燃する繰り返しでした。開業して5年目の冬、開業していたビルが改装工事で1年間使えなくなるとお知らせがあり、肝硬変1歩手前の私としては早くも潮時を考えていました。半分諦め。その翌年9月に特効薬、HCV NS5A 複製複合体阻害剤が認可されました。あとがないからすぐ投与で計24週内服です。悪い旧友は投与後3週で消えました。今もいません。同様な病気が原因で亡くなられた先輩もいらっしやいました。先日薬理学、松本先生(同級生)の講演後に「木下、新しい薬が次々出てきて、僕らはいいい時代を生きている」と言ったのが耳に残っています。今は、最初の医院から2分の所で開業を続けており、諦めないでよかったですと思っております。

最後に、時間を共有していただいた教授、先輩、後輩たちに心より感謝申し上げます。くせも強いけど、みんな僕にとって優しい人たちでした。書き忘れしました。趣味は釣りです。もう一つの写真は磯釣りで釣った1番大きな真鯛です。



## OB 通信    メキシコでの隠居生活

三保 仁

私が医局にお世話になっている 30 歳の時、緊急気管切開の助手に付き、未熟な私は針刺し事故を起こしました。それによって C 型肝炎に罹患し、当時は 30 年後に 80% が死亡すると宣告されました。まだウイルスすら同定されておらず、Non A non B ウイルスと呼ばれていた程で、当然治療方法などありませんでした。人生を 60 歳までと心に決め、悔いのないように日々を過ごすように心がけました。その後、インターフェロンの治療を 2 クール受けるも治癒しませんでした。学生時代からダイビングに凝っていたのですが、開業後にインストラクターになり、いつの間にか潜水医学を専門とするクリニックとして約 1 万人のダイバー診療に携わりました。そして、いつしか泉の中の水中ケーブを潜るという特殊なケーブダイビングに懲り、フロリダ、バハマ、メキシコのケーブに 15 年ほど通いました。特にメキシコの水中ケーブは、とても美しい鍾乳洞です。メキシコには年に 4 回ほど 10 年間通い、海外から移住してきたケーブダイビングの仲間達から、「君も移住したら？」とよく言われたものですが、「でも、60 歳で死んじゃうから無理だよ」などと話したものです。しかし、57 歳の時に新薬が発売され、何の副作用もなく 2 週間で完治してしまいました。これを機にメキシコ移住を決意し、58 歳でクリニックを継承し、移住を果たしました。医局の先輩方にも C 型肝炎の方がおられました。皆様もきっと完治なさってエキストラ人生を満喫なさっておられることと思われ。スペイン語はまだ未熟で、また日本とは勝手が違うことが多く、生活には色々と苦労します。それでも楽天主の私は、楽しく潜っています。一回に 4 時間、一人で潜りますが、一体何歳まで潜れるのでしょうか。

開業時代には土日診療をしていたため、四門会に出席することが出来ず、大変失礼を致しました。いつしか皆様にお会いできる日が来ることを願っております。





## OB 通信 近況報告・地元PR

森 園子

四門会の皆様、ご無沙汰しております、25 回生の森園子(旧姓島田)と申します。早いもので、私が大学を離れてから 10 年がたとうとしています。先生方には大変お世話になり、ありがとうございます。

現在私は、7 歳・5 歳の二人の子供を育てながら、実家の耳鼻科クリニックで週に一度ですが外来診療をしています。クリニックは平成 29 年に静岡県沼津市から近隣の駿東郡長泉町に移転しました。電子カルテを導入していますが、診察予約や順番予約はしておらず、私の担当している午前中は移転前から来て下さるお年寄りや、小さな子供を中心に診察しています。近隣には静岡県立がんセンター、静岡医療センター、順天堂静岡病院があり、患者さんを紹介させていただいています。

長泉町は小さな町で皆様もご存じないと思いますが、毎週通勤していると愛着がわいてくるもので、このたびは近況報告の紙面をお借りして現在の勤務地である長泉町周辺のおすすめの場所をご紹介しますと思います。

### 鮎壺の滝

町内を流れる黄瀬川は御殿場市を源とする川で、その川底にはおよそ1万年前の富士山噴火の際の溶岩が流れた跡を見ることができます。鮎壺の滝はその溶岩の断崖が滝となっていて、幅 90 メートル、落差 10 メートルの迫力のある滝です。滝の下流にかかるつり橋からは勢いよく流れ落ちる滝を見ることができます。この鮎壺の滝を含む伊豆半島全体は 2018 年にユネスコから世界ジオパークに認定されていて、ほかにも湧水で有名な柿田川、ダイビングスポットでもある大瀬崎、天城越えで知られる浄蓮の滝などの見どころがあります。

### 三島スカイウォーク

2015 年に、伊豆縦貫道を三島塚原I.C.で降りてすぐのところに日本最長 400 メートルのつり橋ができました。天気が良いと、橋の上から富士山をのぞむことができます。しっかりした造りなので風でもあまり揺れませんが、歩廊中央がオープングレーチングになっていて恐怖感をあおります。さらに常軌を逸したアトラクションとして、つり橋と並行して 70 メートルの高さを滑車で滑り降りるロングジップスライドがあります。体重 100 kgまで参加できるので、皆様いかがですか？ロングジップスライドは無理でも、つり橋の先にはフォレストアドベンチャーのアスレチックコースがあるので小さいお子様から楽しめます。

以上、勝手に地元PRさせていただきましたが、首都圏から車で 1 時間半、頑張れば日帰りできますし温泉に泊まればゆっくりできます。機会がありましたらぜひお出かけください。





## 四門会親睦会

四門会副会長 黒田寿史

平成30年度より四門会副会長を拝命いたしました22回生の黒田寿史です。若輩の身ではありますが、佐久間副会長とともに服部会長を支え、よりよい四門会になるよう努力いたしますので会員の皆さまにはご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。さて、令和元年11月16・17日に第33回日本耳鼻咽喉科学会専門医講習会が名古屋で開催されました。平成28年度より専門医の更新基準が変更になり、規定の共通講習や領域講習を受講するために多数の耳鼻咽喉科医が専門医講習会に参加されました。平成30年度より四門会会長になられた服部先生が名古屋で開業されていることから四門会員の親睦を深めるために服部会長おすすめの名店で親睦会を行いました。11月16日の夜に19名の参加者で、栄にある鳥銀にて美味しい名古屋コーチンを食べながら楽しいひとときを過ごしました。今後も親睦会を企画したいと思っておりますのでぜひご参加していただきますようお願いいたします。



## 第 20 回 四門会ゴルフコンペ

内田 登

2019 年 9 月 29 日(日)、第 20 回四門会ゴルフコンペが葉山国際カンツリーにて開催されました。9/29 は一週間前より雨の予報が続き、前夜には午前中の土砂降りを含む一日荒天の予報が出ていました。が、幸いにも予報は良い方に外れ、スタート前には雨もあがり絶好のゴルフ日和となりました。

また、葉山国際では珍しく風も微風で、午後には房総半島が見えるほどに天候は回復。美しい眺望も楽しむことが出来、幹事の一人としては満足のいく一日となりました(ゴルフはボロボロでしたが。)

第 20 回四門会ゴルフコンペ上位の結果です。

優勝:宮本 康裕先生

もともとポテンシャルが非常に高いのはわかっていたのですが、昨年からの躍進には驚きました。おめでとうございます。

ベスグロ賞:桑原 大輔先生

決めるところはしっかり決めてきますね。流石です。

準優勝:信清 重典先生

今回同組でしたが、出だしの OB トリが無ければ優勝でしたね。

第3位:佐久間 惇先生

パットが非常に上手な先生。寄せワンしまくっているのが目に浮かびます。

今回、私と同世代の 3 人の先生がベスグロ、上位に食い込む中、私だけ昨年引き続きビリ争いを演じているのが残念です。(シャンク病もほぼ治り、今回は自分に期待していたのですがドライバーで OB 連発で撃沈。以降、良かったドライバーが絶不調に。治りません。)

ページの都合上上位の方のみとさせて頂きましたが、他 16 名の先生方におきましてもお疲れ様でした。参加者 20 人という大盛況の中、無事開催することが出来たことを心より感謝申し上げます。

また、宮本康裕先生及び現医局長の斉藤善光先生におきましては病院業務で多忙な中、ご参加いただきありがとうございます。医局には他にもゴルフが出来る方がおられるとのことでしたので、現役の先生方にもどんどん参加していただけることを期待しております。





## 第23回四門会総会議事録

1. 会員数内訳（令和元年12月1日現在）  
総会員数：141名  
うち現医局員：34名
2. 会員異動  
赤澤 吉弘 平成31年3月31日 退職  
(しんゆり耳鼻咽喉科)  
井戸 光次朗 令和元年9月30日 退職  
(海老名こじろう耳鼻咽喉科)
3. 新入会員  
瀬尾 徹 令和元年4月1日 入職  
岩武 桜子 令和元年4月1日 入職  
青海 瑞穂 令和元年10月1日 入職
4. 退会会員
5. 会計報告（平成30年10月～令和元年9月）  
次ページ参照
6. 令和元年度役員人事  
会 長 服部康介  
副会長 佐久間 惇、黒田寿史  
顧 問 竹山 勇、加藤 功、大橋 徹  
推薦理事 肥塚 泉  
理 事 赤澤吉弘、岩武博也、上杉恵介、  
越智健太郎、春日井滋、勝見直樹、  
木下裕継、倉田久美、釧持 睦、  
小松崎靖、佐々木祐幸、佐藤成樹、  
新谷敏晴、スミス馨子、田中泰彦、  
中村 学、晝間 清、南 定、  
宮部 聡、宮本康裕、谷口雄一郎、  
渡辺昭司（50音順）  
監 事 芋川英紀、岡田智幸  
事務局長 齋藤善光  
定年に近い理事に関しては、会長へ報告してもら
7. 令和元年度四門会賞  
肥塚 泉
8. 第120回日本耳鼻咽喉科学会総会（令和元年）  
宿題報告に関する報告  
スライドのブラッシュアップやカラー対応に使用した。また、宿題報告の冊子は、順次発送する方針となった。
9. 新役員人事  
特任准教授：瀬尾徹、前医局長：三上公志の2名が理事に推薦され承認された。
10. 新入医局員勧誘費の寄付について  
30万円寄付が継続で承認された。
11. 聖マリアンナ医科大学 創立50周年記念事業への寄付について  
四門会から50万円寄付する事で承認された。
12. 肥塚 泉教授 耳鼻咽喉科教授20周年パーティーについて（令和2年9月27日（日））  
ホテルモリノ（新百合ヶ丘）にて開催予定。  
OBの先生方には会費制で参加をして頂く。  
四門会からは会長一任で立札等を5-10万程度で準備する方針となった。
13. 令和2年度 四門会日時  
日時：令和2年12月6日（日）  
場所：京王プラザホテル
14. その他


平成30年10月～令和1年9月

平成29年度繰越金	¥3,678,883	
	収入	支出
年会費	¥560,000	
四門会誌第25号印刷費		¥225,421
四門会賞(1名)		¥50,000
通信運搬費		¥47,450
慶弔費		¥18,900
勧誘費		¥300,000
総会当日会費	¥980,000	
京プラ会場費		¥902,415
秘書日当(秋山・新山)		¥20,000
第120回日耳鼻宿題報告寄付		¥1,500,000
振込み手数料		¥216
利息	¥23	
	¥1,540,023	¥3,064,402
次年度への繰越金	2,154,504	

監査報告

令和1年9月30日

聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室  
同門会(四門会)  
会長 服部 康介 殿

岡田 留幸 

監事

茅川 英紀 

聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室 同門会(四門会)平成30年度収支決算に関する  
証拠書類を慎重に審査しましたところ適正であることを認めます。  
また、会務は適切に施行されていることを認めます。



聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科 第23回四門会 2019年12月1日 京王プラザホテル







# 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室同門会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 (名 称)

本会は、聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室同門会（四門会）と称する。

### 第2条 (事務局)

本会は、事務局を聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室内に置く。

## 第2章 目的および事業

### 第3条 (目 的)

本会は、聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室の進歩発展と学術事業に対する援助を行うとともに、会員相互の学術研鑽並びに親睦を図ることを目的とする。

### 第4条 (事 業)

本会は、前条の目的を達するために、次の事業を行う。

- (1) 学術研究会および講演会等の開催
- (2) 総会および親睦会の開催
- (3) 四門会誌・名簿・その他出版物の発行
- (4) 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室の後援
- (5) その他、本会の目的を達成するのに必要な事項

## 第3章 会 員

### 第5条 (会員)

本会は、次の者をもって会員とする。

- (1) 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室在籍者
- (2) 聖マリアンナ医科大学関連教育病院耳鼻咽喉科在籍者
- (3) 本会の目的に賛同し会長あるいは理事会において承認された者

### 第6条 (会員の入退会手続)

- (1) 本会に入会を希望するものは、所定の申込書に年会費を添えて本会に提出し、理事会の承認を得なければならない。
- (2) 前条(3)項に該当する者は、会長あるいは理事会の推薦を得た後、所定の申込書に年会費を添えて本会に提出し、総会で承認を得なければならない。
- (3) 本会の退会を希望する者は理事会の承認を得なければならない。

### 第7条 (会 費)

- (1) 会費は細則に定めるところにする。

- (2) 会費は前納とする。

## **第4章 役員**

### **第8条 (役員)**

本会は会長1名、副会長2名、理事数名、事務局長1名、監事2名を置く。

### **第9条 (役員の任期)**

- (1) 本会の役員の任期は、原則としてその都度議を得るものとする。ただし、再任を妨げない。
- (2) 役員に欠員が生じた場合、補欠役員がその職務を行う。
- 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- (3) 役員は、その任期満了後も後任者が就任するまでは、その職務を行う。

### **第10条 (役員の職務、権限)**

- (1) 会長は本会の代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は会長に支障が生じた場合、その職務を代行する。
- (3) 理事は理事会を構成し、会則に定めるものの他、本会の業務を議決し、業務を執行する。
- (4) 監事は本会の業務ならびに会計を監査する。
- (5) 事務局長は理事会のもとに事務局を統括し、会務の遂行にあたる。

### **第11条 (役員を選任)**

- (1) 理事および監事は会員により推薦され、理事会の議を得て、総会にて承認得たものとする。
- 選出の方法は細則による。
- (2) 理事の中に推薦理事と顧問を置き、聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室代表教授を推薦理事とする。また、教授退任後は顧問とする。
- (3) 会長、副会長は理事の互選とする。
- 監事は理事および事務局長を兼ねることはできない。

## **第5章 会議**

### **第12条 (総会)**

- (1) 総会は年1回会長が理事会の議を経て、これを召集する。
- (2) 総会は会員の3分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- (3) 総会において会長は議長とし、事業計画ならびに収支予算についての事項、事業報告および収支決算についての事項および本会の運営に関する重要事項の承認を受けなければならない。
- (4) 総会の議決は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が定める。
- (5) 会長が必要と認めた場合、あるいは会員の要望がある場合において、会長は理事会の議を経て、臨時総会を召集することができる。

### **第13条 (理事会)**

- (1) 理事会は会長がこれを召集する。

- (2) 理事会は現理事数の3分の2以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- (3) 理事会において会長は議長となり、本会の事業を企画し、必要な一切の事項を審議し運営する。
- (4) 理事会の議決は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が定める。
- (5) 監事は理事会に出席し意見を述べることはできる。ただし、票決に加わることはできない。

## **第6章 事務局**

### **第14条（事務局）**

- (1) 本会の一般業務を処理するために、本会の事務局内に事務局を置く。
- (2) 事務局の構成は事務局長1名、事務局員若干名とし、選出方法は、聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室医局に一任する。
- (3) 事務局長は理事会に出席する。

## **第7章 会計**

### **第15条（本会の経費）**

本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってあてる。

### **第16条（会計年度）**

本会の会計年度は毎年10月1日に始まり翌年9月30日に終える。

## **第8章 会則の改正**

### **第17条（会則の改正）**

本会則を改正するには理事会の審議を経て、総会の出席者の3分の2以上の議決を得なければ変更することができない。

## **第9章 その他**

### **第18条（その他）**

本会則を施行するに必要な細則を別に定める。

<附則>

### **第19条（本会則の発効）**

本会則は平成9年12月1日から発効する。

本会則は平成12年12月3日から発効する。

本会則は平成16年11月28日から発効する。

本会則は平成18年12月3日から発効する。

本会則は平成24年12月2日から発効する。

## 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室同門会細則

第1条 本細則は会則第18条によりこれを定める。

### 第2条 (会費)

- (1) 会費は年会費とし、次のごとく定める。
  - ・ 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室および同関連教育病院現医局員の会員は年額 5,000 円
  - ・ その他の会員は年額 10,000 円
- (2) 70歳以上の会員に対しては理事会の議を経て、会費及び同門会参加費の免除を行い、名誉会員とする。

### 第3条 (役員を選出)

- (1) 役員の定数は、理事 15名以上、監事2名とする
- (2) 選出方法は理事会に一任する。
- (3) 会長および副会長の選任は理事の互選による。
- (4) 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学教室代表教授は会長を兼任できない。
- (5) 会長は聖マリアンナ医科大学卒業生に限る。
- (6) 会長、副会長の任期は3年2期までとする、ただし再任は防げない。
- (7) 役員は65歳で定年とする。

### 第4条 (慶弔)

会員にかかる慶弔は理事会に一任する。

### <附則>

#### 第5条 (本細則の発効)

本細則は平成9年12月1日から発効する。

本細則は平成11年11月28日から発効する。

本細則は平成12年12月3日から発効する。

本細則は平成16年11月28日から発効する。

本細則は平成17年12月4日から発効する。

本細則は平成22年12月5日から発効する。

本細則は平成27年11月29日から発効する。

《編集後記》

今回の表紙は、2023年1月オープン予定の大学病院新入院棟、2024年10月オープン予定の大学病院新外来棟のイメージ完成図としました。

現在、大学では明石会館が取り壊され、高台にとなっていた地面を掘り起こす作業を行っており、私も学生時代に学び舎として使用していた校舎がなくなる様子を見ていると寂しさを覚えます。

現在、新病院設立に向け大学として寄付を募っておりますが、今年度、四門会事務局より、新病院への多大なご寄付を頂きました。四門会会員の先生方には心より深謝致します。

数年後、病院は新しくなりますが、聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科もさらに発展出来るよう医局員一同精進していきたいと考えております。

今後共、先生方には益々のご協力およびご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健康と益々のご発展を祈念しております。

(齋藤善光)